

第六十七回

瀬戸市文芸発表会

特選作品

【大塚 寅彦 先生選】

《一般の部》

選ばざる厳しき岩場に赤松はただひたすらに偶然を生く
鹿喰はぬジキタリスのみ咲き誇り父なき里に夏は巡りぬ
想い出を抱きて眠る里の夜孵化せぬ卵ぬくめるように

愛知県豊田市
福岡県田川郡添田町
埼玉県久喜市

石倉 香子
独活山 強実
岡田 孝道

《小中学生の部》

どんぐりの子どもみまもる母の木はさらしやらしやらと静かにうたう

水野中学校一年

中尾 桜子

【近田 順子 先生選】

《一般の部》

あったかもしれない別の人生を妻も思うか思えば悲し
輝いているもの全てを疑って生きるわたしのシャーペンの先
人生の縮図のような観覧車頂点越せば釣瓶落しだ

兵庫県川西市
京都府京都市
瀬戸市神川町

沖田 守
近藤 珠理
丸山 進

《小中学生の部》

どんぐりの子どもみまもる母の木はさらしやらしやらと静かにうたう

水野中学校一年

中尾 桜子

【松代 天鬼 先生選】

《一般の部》

着物地のスカートフ母という私
若き獅子千里の駒で瀬戸が燃ゆ
手になじむ茶碗作者の名は知らず

瀬戸市五居塚町
愛知県常滑市
北海道札幌市

稲垣 康江
榊原 久
柴田 睦郎

《小中学生の部》

母さんと背丈が同じになった夏

水無瀬中学校一年

山田 夏碧

【なかはら れいこ 先生選】

《一般の部》

寝たきりの妻に翼が生えてくる
なんでもない人になりたく着るボーダー
風を読むリバーシブルな舌を持つ

瀬戸市上品野町
東京都江戸川区
埼玉県久喜市

安藤 なみ
唄 狸
岡田 孝道

《小中学生の部》

天の川いろあざやかなおやくそく

效範小学校五年

水野 咲輝

【若山 紀子 先生選】

《一般の部》

メガネ

瀬戸市上品野町

藤 天如

久しぶりに部屋を片付けた。

うす汚れた小さな箱があった。

開けるとメガネが入っている。

説明書に「三時間使用限定」と書かれている。

早速メガネをかけて鏡を見た。

私の顔は犀だった。

外出の支度をして、バス停へ行った。

バスが来て、乗ると虎が「こんにちは。」と

話しかけてきた。私も同じように答えた。

座って窓の外を見ると、子豚が二人走っている。

次のバス停で熊が乗って来た。

バスを降りるとき、

運転手の顔をちらっと見ると、ゴリラだった。

電車に乗った。

蛙の横に腰かけた。

向かいの若い娘達は、ねずみ、兎、キリンだった。

ナマズがたくさん乗って来た。

亀の子供を連れた鹿の母親が隣に座った。

コブラの中年男性が口を開けて、赤い舌を

チラチラさせて眠りこけている。

狼の少年と目が合って、私は慌てて、メガネを

はずしてケースに戻した。

メガネの使用限度は、まだ二時間残っている。

永訣の冬

北海道札幌市

藤 わかな

きみは あの日

星の海に座礁してしまった

オリオンの煌めきを浴びて

星河の岸边に宿る

細い灯のひとつになっちゃった

きみは あの夜

碧潭に身を放った

シリウスの焰に照らされて

篤い友情を支えた肩を

誰にも受け止められぬまま

きみは あの時

多すぎる星々の

光の渦に掬い取られてしまった

大地に戻ったきみの身体に

もうきみはいなかった

両腕を広げ

無言で逝ってしまった朋よ

訪れあてることのできない

碧海の住人となってしまった朋よ

きみが身体を失くしても

きみが歳を取らずとも

きみは変わらず

きみそのものだ

《小中学生の部》

ながれぼし

效範小学校四年 文本 怜玖

ながれぼしが忙しいと、早く落ちるかも。

ながれぼしが疲れてたら、ゆっくり落ちるかも。

ながれぼしがルンルン気分だったら、飛び跳ねながら落ちるかも。

ながれぼしが悲しい気持ちなら、斜めではなく下に落ちるかも。

ながれぼしが怒ってたら、途中でどこかに行っちゃうかも。

ながれぼしに気合が入ってたら、すごく早く落ちるかも。

【田口 風子 先生選】

《一般の部》

たんぽぽの花束貫ふ誕生日

秋うらら職員室に将棋盤

原爆忌影なき時刻の止まりをり

瀬戸市北山町

愛知県尾張旭市

長崎県長崎市

加藤 純子

豊田 紀久子

西 史紀

《小中学生の部》

新緑へ吸いこまれて行くぶらんこ

水野中学校一年

中尾 桜子

【佐藤 美恵子 先生選】

《一般の部》

噴水のしぶきを吾子の手がつかむ

夕顔ひらく後ろに闇を広げつつ

天高し指揮棒振れば鼓笛来る

佐賀県唐津市

愛媛県西条市

瀬戸市窯町

古賀 由美子

砂山 恵子

永井 久子

《小中学生の部》

過ちが語り継がれる原爆忌

水無瀬中学校三年

細見 友菜

【加藤 かな文 先生選】

《一般の部》

まっさらな産着帆にして春の旅
ぶらんこや土星の環って孤独かも
山羊の仔の腹で息する大暑かな

東京都足立区
京都府木津川市
瀬戸市東山町

小野 史
初霜 若葉
山本 光江

《小中学生の部》

ひとしづくアジサイの上きらめいた

菟山小学校六年

田中 紗菜

【横田 欣子 先生選】

《一般の部》

まっさらな産着帆にして春の旅
新緑の風を頬張る立ち話
大道芸囲む地べたのあたたかし

東京都足立区
愛知県岡崎市
岐阜県大垣市

小野 史
川合 典子
小林 研

《小中学生の部》

子供の日めざましりんりん鳴り響く

南九州市立大丸小学校六年

内村 愛里紗